

令和5年度 社会福祉法人雄心会 事業計画書

令和5年度 社会福祉法人雄心会 事業計画

〈基本理念〉

「安心できる環境で良質かつ専門的な福祉サービスを提供する」

—実践要綱—

1. 良質な福祉サービス

- ・利用者・ご家族の尊厳を尊重し、生き甲斐のある自立した生活を実現できるよう支援する。
- ・専門的な知識と技術を研鑽し常に地域福祉の先端を目指す。
- ・教育、研究分野に対する積極的な姿勢を持ち、福祉サービスの向上を図る。

2. 社会貢献

- ・地域の住民、行政、関係機関と連携を図り、地域の福祉ニーズに積極的に対応する。
- ・地域の皆さんと分け隔てなく支え合う幅広い福祉サービスを提供する。

3. 利用者の満足

- ・思考と行動を利用者中心とし、利用者、家族から信頼される福祉サービスを提供する。
- ・相手を尊重し温かみある対応を心がけ、心が通じ合う福祉サービスを提供する。

4. 職員幸福

- ・職員全員が福祉の心を持ち、自己を高める事ができる人材育成をする。
- ・職員その家族の幸せを考えられる職場作りに努める。

〈法人全体の事業計画〉

平成24年10月法人設立時の「介護老人保健施設いなほ」1施設体制から平成30年4月「複合型施設いなほ」、平成30年10月「養護老人ホームひのき」、令和4年4月法人合併により「特別養護老人ホームきたひやま荘」開設、さらに令和4年11月「地域密着型小規模特別養護老人ホームせたな雅荘」再開により、運営施設が5施設に拡大しました。

このような状況も踏まえ、令和3年度より継続している「魅力ある法人づくりのための3本柱」をさらに推進し、介護職の魅力向上や介護の価値の高揚を図ります。

①現在の業務を適正なものにするための「業務改善プロジェクト」

②皆が働きやすい環境、待遇を考えるための「環境・待遇改善プロジェクト」

③介護の知識、技術と共に人として成長していくための「人材育成プロジェクト」

各拠点において、更なるICTの活用等によるさまざまな業務改善に取り組み、法人運営の効率化を進めつつ、安定的な運営の確保に努めます。

また、令和2年2月にベトナム人技能実習生2人を受け入れて以降、新年度当初においては、各拠点に技能実習生6人、特定技能21人の配置を見込んでおり、国籍はベトナム人、カンボジア人、インドネシア人と多岐にわたっています。

今後も計画的な受け入れを行うことにより外国人介護人材が充実し、職員が働きながら異文化交流を経験できることによる国際的視野の享受、技術供与することなどによるスキルアップを図ります。

このような取り組みにより、「働き方改革」に沿った職員のワークライフバランスの推進、働く皆さんが楽しく社会貢献意義を持てる、より働きやすい環境作り、利用者様に質の高いケアを届け、よりよく生きようという意欲を持っていただく、人生はまだ楽しいと思っただけのよう

尽力し、「働いてみたい・利用してみたい施設」を目指します。

さらに、当法人は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

《介護老人保健施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

昨年度は新型コロナウイルス感染症におけるクラスターを経験し、感染対策の重要性を経験する。クラスターを経験するなかで、入所・通所における感染分離を徹底したことで、クラスター期間中においても通所部門の営業を継続できたことは、今後のウィズコロナ事業継続を考えていくなかでは大きな経験であり、今後活かしていけると考えます。

稼働においては、コロナ禍の影響からも入所部門の稼働率が目標値よりも低値となりました。通所部門においてもコロナ感染症の影響もあり、今年度目標人数より下回る予定であります。新年度は各部門目標値に到達できるよう課題の抽出・解消に取り組む。また、コロナ感染症対策においては、感染症分類の変更から世情が大きく変化することが予測されるなか、介護保険施設として、利用者や職員の安心・安全が確保できる施設運営を目指します。そのなかでも介護老人保健施設の役割として求められる地域貢献活動の活動再開を模索します。地域の特性に応じたサービスを検討し、他事業との連携やコロナ禍の環境から徐々に再開してきた地域へのリハビリスタッフ派遣や自宅から積極的に外出できない方へのリハビリテーション支援など、今後拡大していけるよう進めて参ります。

介護人材の確保においては、外国人技能実習生においては3年が経過し、3期において技能実習生が入職されている。既存職員との相互関係も理解共存が深まってきている。今後も技能実習生の採用を継続し、双方で共存できるケアサービス提供を志していきたいと思えます

また、働きやすい環境整備を念頭に業務改善プロジェクトを中心に進めてきました業務の効率化については、導入したICTを最大限活用できるよう共有し、職員のワークライフバランスを大事にした、働きやすい環境の整備に尽力します。

2. 老 健：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として複合型施設と合同開催。各種イベントを企画する。
9月	慶祝会	祝い年齢該当者のお祝いや地域ボランティアを招致する。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じてもらう。
11月	調理レクリエーション （各ユニット企画）	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻度	目的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
広報・ボランティア委員会	1回/3ヶ月	福祉活動の拠点となり、地域との連携を大切に活動する。
感染対策委員会	1回/2ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
リスクマネジメント委員会 事故防止委員会	月1回	事故、身体拘束及び虐待の防止と適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束・虐待防止委員会	1回/3ヶ月	身体拘束廃止・虐待防止の体制確保について協議・啓発活動
褥瘡委員会	随時	褥瘡発生予防への取り組み
衛生管理委員会	月1回	施設職員の労務環境、健康管理等の維持・改善について協議する。

《複合型施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

昨年度は、職員、利用者に新型コロナウイルス感染者が確認されましたが、早期に感染対策を実施し感染者を最小限に食い止め、稼働には大きな影響なく運営してまいりました。今後も日頃より利用者及び職員の感染防止に努めるとともに、新しい生活様式として、家族の面会方法緩和や利用者には感染対策を重点に置き、外出支援を検討していきます。また、事業の継続を明確に置いて安定した施設運営を目指し取り組んでまいります。

また、業務改善プロジェクトによる業務の見える化、介護ロボットの導入、IT化を進め、働き方改革の推進に努め、業務改善のための取り組みをしてまいりました。今後は生産性向上として付加価値を高めるという観点から、業務効率化に加えて事業の再構築や新規創出など幅広い取り組みに努めてまいります。

2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	季節を感じていただき活動の拡大や気分転換を図る。

5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、気分転換や他者との交流を図る。
6月	ほあかり合同運動会	他ユニットとの交流や身体を動かす機会を作り、活動場面の拡大を図る。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として老健施設と合同開催。他者との交流を図る。
9月	慶祝会	長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じていただいたり、活動の拡大や気分転換を図る。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る。

3. サ高住：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（お買い物）	季節に合わせた衣服の購入や気分転換、他者との交流を深める。
5月	お花見ドライブ	桜を鑑賞し、季節を感じていただくことで気分転換や他者との交流を図る。
6月	外出ドライブ（外食）	おしゃれをして楽しんでもらいながら、気分転換をしつつ外食を満喫する。
7月	① 外出ドライブ（名所めぐり） ② 七夕祭り	① 観光名所等に出かけ、昔を懐かしみながら、地域交流を深める。 ② 日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	① 流しソーメン ② いなほ祭りや地域のお祭り参加	① 季節を感じて頂き気分転換を図る。 ② 様々な祭りへ参加し季節感を楽しみ、地域・他者との交流や気分転換を図る。

9月	① 慶祝会 ② 外出ドライブ（お買い物）	① 長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。 ② 季節に合わせた衣服の購入や気分転換や他者との交流を深める。
10月	① 果物狩り（サクランボ、プルーン等） ② 紅葉見学ドライブ	① 自然の中で食べるもぎたての旬の果物を味わい、季節感や交流を深め、気分転換を図る。 ② 紅葉見学から季節の変化を感じる。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会（調理レクリエーション）	利用者と協同しながら料理を楽しみ、気分転換や他者との交流を図る。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節感を感じつつ、交流や気分転換を図る。

4. 各種委員会運営計画

新年度も前年度に引き続き、「介護老人保健施設いなほ」と合同開催とする。

＜養護老人ホームひのきの事業計画＞

1. 事業計画総括

昨年度は、新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生し、入所及び通所サービス、居宅介護支援事業の運営に影響があり、予算目標を下回る状況にありました。また、ご利用者様の生活にも影響が見られました。新型コロナウイルスにおいては令和5年5月8日を予定とし感染法上の分類が「2類相当」から「5類」へ移行となりますが、感染症リスクの高い高齢者を支援する施設として、引き続き感染症対策を重視しかつ正しい知識と適宜マニュアルの見直し等を図り、安心・安定した施設運営を目指します。

入所サービスについては、昨年度介護ロボット等導入支援事業を活用し見守り機器を導入、環境整備を行ったことから、今年度は、有効ある機器の活用と導入に伴う業務改善を図り、介護サービスにおける「生産性向上」「サービスの質向上」「利用者の満足度向上」を図り、よりよいサービスの提供を実施していきます。

通所介護事業については、昨年度、新型コロナウイルス感染拡大により、感染防止対策の重視を余儀なくされ、ニーズに即した様々な活動を提供することができず、また広報活動においても不足な状況にありました。

新年度は、感染防止対策を徹底しながらも「居宅介護支援事業」も含め、地域の支えになるべく取り組みを強化していきます。

全事業において、昨年同様、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築し、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、地域住民参加を含めた

訓練（シミュレーション）の実施等、更に檜山地域の医療の基盤である「道立江差病院」との連携を強化し、安定した施設運営、地域支援を目指し取り組んでいきます。

2. 養 護：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	茶話会（各ユニット企画）	季節を感じるお茶菓子などを囲み、気軽に語り合える雰囲気を作り、交流を楽しむ。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	屋外レクリエーション	外出の機会や施設屋外周辺の散歩、正面玄関の花壇整備など気分転換や余暇活動を楽しむ。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	納涼祭 ※町内会祭りへの参加	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。柳崎町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	・紅葉見学ドライブ ・運動会	・外出の機会を作り四季の変化を味わい又買い物や外食を企画、楽しんでいただく。 ・健康増進の啓発も含め運動会を企画
11月	・文化祭への出展 ・調理レクリエーション（各ユニット企画） ・地域幼稚園お遊戯会	・地域の文化祭活動へ余暇活動で作成した作品を出展、見学会も含め地域活動への参加を図る。 ※施設内出展も含め ・収穫した食材を含め調理内容を企画・調理を利用者と一緒に行う。 ・地域幼稚園児が来訪し交流を楽しむ
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	調理レクリエーション（各ユニット企画）	旬の食材を使用し季節を味わいながら調理を利用者と一緒に行う。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。

広報・ボランティア委員会	1回/3ヶ月	地域との連携・日常生活におけるレクリエーションや運動の機会、趣味活動などメリハリのある生活が送れるよう企画・運営を行う。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
リスクマネジメント事故防止委員会	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会 ・虐待防止委員会	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。
褥瘡委員会	年2回	皮膚トラブルへの要因と分析、再発防止など褥瘡予防を図る

〈特別養護老人ホームきたひやま荘・地域密着型小規模特別養護老人ホームせたな雅荘の事業計画〉

1. 事業計画総括

昨年度より法人合併により当法人施設として運営することとなりましたが、今まで通り地域に根付いた社会福祉施設としての役割を全うすることを目的に変わらず地域に愛される施設として、前法人である北檜山恵福会の理念を受け継ぎ、利用者や地域の声や要望を真摯に受け止め満足度を追求し、地域との交流を深めながらこの地域に親しまれる施設を目指し、利用者の安心、安全、快適な生活のため「自立支援」に最大限心がけ運営を行います。

2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	運動会（ゲーム大会）	健康増進の啓発も含め運動会を企画。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。
8月	納涼祭	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じていただいたり、活動の拡大や気分転換を図る。
11月	調理レクリエーション （各ユニット企画）	収穫した食材を含め調理内容を企画・調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。

1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
レク・行事委員会	1回/3ヶ月	日常生活におけるレクリエーションや運動の機会、趣味活動などメリハリのある生活が送れるよう企画・運営を行う。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全対策委員会	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会 (虐待防止委員会)	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。